



9/1 ^金

交通安全キャンペーン 全国キャラバン隊が訪問

「交通安全は家庭から」をスローガンに、8月21日から9月12日の23日間にわたって、交通安全を訴えながら全国の自治体を訪問してられるキャラバン隊が本市を訪れメッセージ伝達式が行われました。また、なないろ保育園児の和太鼓演奏が、伝達式に華を添えてくれました。この活動が全国各地に浸透して悲惨な交通事故が減少することを強く願うとともに、一人ひとりの交通安全意識の高揚が重要であることを再認識させられました。

(交通対策課)



7/25 ^火

8/30 ^水

子ども工作教室「勾玉をつくろう」

高島市立資料館では、夏休み期間中に図書館・公民館との合同企画で市内の遺跡から出土したヒスイやメノウ製の勾玉を参考に、自ら作る体験を通して、次代をにう子ども達が高島の歴史を知り、より関心を持つ機会づくりとして、勾玉づくり教室を開催しました。6会場で延168人の小学生達が参加し、色のきれいな中国産の印材を材料に、砥石やヤスリ・キリなどを使って石を削ったり、穴をあけるなどして、思い思いの勾玉を仕上げました。子ども達は完成したオリジナル勾玉を首から下げ、「おしゃれで、かわいい」と見せ合っていました。

(市立資料館)



8/19 ^土

発足から25年！ 第50回の記念大会を開催

高島壮年ソフトボール連盟では、男性40歳、女性35歳以上の壮年で春と夏の2回、高島地域の各地区対抗ソフトボール大会を開催しています。連盟発足から25年、市内の有志の努力により途切れることなく続けることができ、今回が50回の記念大会となりました。天候にも恵まれた今大会には、19チームが参加し、12日間の大会を盛大かつ無事に終えることができました。

〈大会成績〉 優勝：横山チーム 準優勝：宮野チーム
〈敗者復活戦〉 優勝：野田チーム 準優勝：音羽チーム

(高島壮年ソフトボール連盟)



あんなできごと、こんな人。まちで起こったホットなニュースを紹介します。ニュースは皆さんから大募集!! あなたのとびつきりを紹介してください。毎月5日〆切。秘書広報課までご連絡ください。



8/7 ^月

8/9 ^水

8/17 ^木

来た・見た・学んだ ～高島と大洲の 子ども藤樹会交流～

8月7日から9日にかけて、高島子ども藤樹会の28人が愛媛県大洲市を訪れました。船で四国に渡った子どもたちは早朝にも関わらず元気いっぱい、大洲の方から出された藤樹先生に関する質問にもスラスラと答えられ、これまでの学習の成果がしっかりと身に付いている様子うかがえました。

8月17日には、高島市へ大洲の子ども藤樹会の皆さん31人がこられました。藤樹カルタを使って、藤樹先生のことを学ぶと共に交流を深めました。

(青少年室)



8/22 ^火

8/24 ^木

冒険・発見・挑戦 高島っ子、吹田っ子キャンプに大集合

8月22日から24日までの3日間、今津町南生見の吹田市立少年自然の家で、少年キャンプ大会が開催されました。吹田市と高島市の小中学生が野外活動を通じて交流するこの事業に高島市から62人、吹田市からは89人が参加しました。最初は、初めて会う仲間に緊張してぎこちない様子でしたが、二日目にはすっかり打ち解け、川遊びでは水をかけ合ったり、流れの速いところで手を取り合って助ける姿も見られました。連絡先を交換し合った子どもたちは「また会おうね」と再会を約束していました。(青少年室)



「びわこ全国青少年演劇祭」を終えて

実行委員長 海老澤 文代

次はどんな感動に出会えるのか、ワクワクする中で幕が上がる。子どもたちの楽しいミュージカル、息の合った迫真の演技など、この3日間の5つの舞台はみんな違って、それぞれに真剣で輝いたステージとなりました。

「青少年を主体とする演劇祭を高島市で」との呼びかけに、東京、三重をはじめ、県内湖北町、そして地元から2つの計5団体の参加が得られ、舞台発表だけでなく出演団体の交流と技術の向上を含んだプログラムが展開できました。

出演者と裏方、舞台セットと衣装、そして効果・演出などそれぞれの持ち場がかみ合って演劇は完成します。だれが欠けても成り立たない厳しさの中で、それに関わるメンバーを育ててくれます。こうした演劇活動を私たちは、青少年をたくましく育てる取り組みのひとつとして推進していきたいと考えます。舞台芸術を盛り上げるには良い観客が必要です。この環が深く根つき、発展することを望みます。

8月18日(金)から20日(日)まで、藤樹の里文化芸術会館で「びわこ全国青少年演劇祭」を開催しました。三重、東京など

計5団体86名の出演があり、延べ515人のお客様に観劇していただきました。(青少年室)

びわこ全国青少年演劇祭を開催しました